



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

**よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成**

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→→



9/21(日)第78回下地中学校運動会

生徒会本部の皆さんに 振り返ってもらいました

9/21の「第78回運動会」から、10日以上が経ちました(早いですね)。今回は、「運動会の振り返り」を生徒会本部の皆さんに書いてもらったので、紹介します。

☆永井 隆誠(3年)

運動会では、生徒一人ひとりが練習した成果を発揮できるよう精一杯がんばっているのがとても伝わった。委員会の人達もテキパキと動き、しっかり仕事をこなしていてとても良かったです。

伝統芸能やリズムダンスでは3年生が中心となって自信を持って行っていて見ていて楽しかったです。

綱引きは残念ながら雨で中止となりましたが、障害物リレーは行えてホッとしたし、とても楽しかったです。

今回の運動会では、トラブルや大変なこともたくさんありましたが、それでも楽しく、輝いていました。生徒それぞれが思い出に残る最高の運動会になったと思います。

☆浜比嘉 優実(3年)

生徒会での振り返りは、始まりの挨拶や、終わりの挨拶、みんなをまとめることができて良かったです。

全体を通してでは、リズムダンスや、川満の棒踊り、与那覇のヨンシーでの動きの息があって良かったです。五色綱引きは雨で中止になったけど、親子二人三脚では親子の絆を深められたと思うし、三年全員ではないけれど、みんなへのサプライズが成功できて良かったです。

☆奥平 絢音(2年)

今年の運動会は、準備や片付けなどを協力して頑張ることができたし、縦割り班リレーや親子二人三脚では、家族や他の学年とも仲が深まっていたと思います。

また、リズムダンスや郷土芸能では、雨が降ったけど、最後まで披露することができ、良かったと思います。そして、3年生のサプライズでは、会場がとても盛り上がり、楽しかったです。

来年は自分たちが最後の運動会になるので、今年のように「楽しかった」という声が、たくさん聞けるよう、頑張りたいと思います。

☆下地 瑛太(2年)

まず初めに運動会の準備は、それぞれの生徒会が準備できたので良かったと思います。

次に雨が降り出し、運動会ができなくなるかと思ったけど、なんとか雨がやんで運動会を続ける事ができたので良かったと思います。でも五色綱引きは、できなかったのが悲しかったです。

☆松川 藍丸(2年)

今年度の運動会では、リレーなどでは選手一人一人が全力で頑張り、最後まで盛り上がり欠けることなく、ダンスや伝統芸能では、今までの練習でやってきたことを十分に発揮し、怪我人も出ずに終わることができ、とても良かったです。



☆9/30(火)「沖縄タイムス」掲載記事

本校卒業生の饒平名祐大さん（沖縄尚学高校野球部3年、清志郎さんの兄）が、滋賀県で開催されている「わた SHIGA 輝く国スポ」大会の「高等学校野球（特別競技）」にエースナンバーを背負い先発登板。試合には負けたものの、県立岐阜商業高校を相手に5回を好投しました！あっぱれ！

甲子園Vの沖尚 敗退

3年生チーム 仲間に感謝



野 球

（大津市マイネットスタジアム皇子山）

▽硬式1回戦（7イニング制）
沖縄尚学

0100000 | 1
001013X | 5

県岐阜商（岐阜）

（沖）饒平名、我那覇、照屋一嶺井

（県）柴田、今津一小鎗

最後は3年間ともに汗を流し、チームを引っ張ってきた3年生だけで戦い抜いた。

末吉良丞と新垣有絃の両2年生投手を擁して夏の甲子園を制した沖縄尚学。国スポは1年生大会以来の公式戦となる左腕の饒平名祐大が先発し、甲子園ではベンチで仲間を支えた嶺井駿輔とバッテリーを組んだ。

嶺井が二回に先制犠飛を放てば、饒平名は甲子園4強の県岐阜商を相手に5回2失点の粘投。眞喜志拓斗主将も再三の好守でもり立てた。

1-2で迎えた六回表は比嘉大登と宜野座恵夢の連打で無死二、三塁の好機をつくったがあと一本が出ず無得点。その裏に大きな3点を失った。

「これまで仲間をサポートしてきて、国スポでは支えら



沖尚―県岐阜商 先発し粘投する沖尚の饒平名祐大＝滋賀県大津市・マイネットスタジアム皇子山（大城大輔撮影）

れる側も経験できた。高校生活を共に過ごした3年生だけで試合ができる幸せを、かみしめてマウンドに上がっ

た」と饒平名。眞喜志は「この試合は宝物」と仲間に感謝した。

（大城大輔）＝24面に関連



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→→



10/1(水)は、宮古島市20歳の誕生日

10月の「広報みやこじま」
特別号は読みましたか？

こちらがその「特別号」表紙です。画像を見ると、

20の人文字。そして右下には、こちらの「20周年ロゴマーク(宮古工業高校2年:寺町颯さんのデザイン)」がありますね。

次のページは「宮古島市20年の歩み」です。生徒の皆さんが生まれる前に宮古島市となった訳ですが、印象に残っている出来事があります

か？※小さくて見えづらいと思う方は、宮古島市HPからダウンロードできますので、ぜひご利用ください。

次のページでは、嘉数市長と今年20歳を迎える方々との「20周年アニバーサリートーク with 嘉数市長」が掲載されていました(集合写真)。



20周年アニバーサリートーク with 嘉数市長

特筆すべきは、下地出身の先輩が2人登場していたことです。それがこちらの2人「仲地あおさん(川満出身)・上地たくまさん(上地出身)」です。



仲地あおさん
出身：下地(川満)
所属：帝京大学



上地たくまさん
出身：下地(上地)
所属：琉球大学

「アニバーサリートーク」では、自身や宮古島市の20年の歩みを振り返るとともに、将来や未来に向けての希望や想いを語り合いました。②に続く→→



☆「アニバーサリートーク with 嘉数市長」の続き。

ここからは、アニバーサリートーク中の2人（あおさん・たくまさん）の回答を抄出していきます。

1「宮古島を離れて感じたこと（自己紹介を含む）」

【仲地あお】仲地あおです。出身は下地です。宮古高校の理数科を卒業し、帝京大学に進学しました。私は将来航空業界で働きたいと思っているので英語を学んでいます。

私は上京して驚いたことが2つほどあって、まず何をするにもお金がかかることですね。移動の度に交通費が毎回かかるし、親元を離れてからひと月でこんなにお金がかかっていたんだという衝撃がありました。もう1つはネット通販がとても早く届くところです。引越した当日にカーテンがなくて困っていたのですが、ネット通販で購入して、1週間くらいで届くと思っていたのが翌日には届いていたので驚きました。私は人間関係で距離のつかみ方がわからない時期もあって、一人暮らしで落ち込んでいたりしているときに家族に電話したり、地元の友達に元気してる？ってLINEしたりして、離れていても宮古の絆は簡単にははなれないんだって思いました。宮古を離れてから、宮古愛がもっと溢れました。

【上地たくま】下地出身の上地たくまです。現在は琉球大学医学部の1年生です。沖縄で新しい友人ができたことに加え、地元から沖縄に進学している友人も多いので、楽しんで大学生活を送っています。

自分も家事だったり、あとは様々な契約などを自分でやらないといけない点や、生活費をちゃんと自分で考えながら管理しないといけないので、そういう部分



が大変だなんて思っています。あとは、沖縄本島は宮古島よりも便利で娯楽施設も多く楽しいと感じる一方で、騒音や渋滞で疲れることもあります。

2「宮古島で育った強み」

【仲地あお】航空業界への就職を希望している中で感じたことですが、小さい頃から部活の遠征などで飛行機を利用することが多く、飛行着慣れもしますし、外の環境に触れる機会が多いという点は宮古島の特別な点だと思います。内地では飛行機に乗ったことがないという方も多くいらっしゃるし、就職活動の中で島の魅力や観光業の特性の様々なエピソードを話せるのは強みに感じています。



【上地たくま】自分も似ていますが、いろんな人に興味を持ってもらえる点です。あとは帰省する際に、友人が遊びについてきてくれることもあります。ゴールデンウィークにも友人が帰省についてきてくれました。宮古島を観光したりする中で仲が深まりました。逆に友人に都会のいろんなことを教えてもらうことも多いので、いいきっかけになっていると感じています。

2「宮古島を離れて思うこと、宮古島への想いの変化」

【仲地あお】高校生まではやっぱりちょっと窮屈に感じることもありましたが、親戚同士でイベント毎に集まったりすることも、すごい大切だったなと思っています。

少し悲しい話になるのですが、私の飼ってた愛犬が、上京している間に亡くなってしまったんです。本当に当たり前だった存在で、今回の帰省でも会えると思っていました。日々の時間や関わりをもっと大切にしようと思うようになりました。

【上地たくま】宮古を出るまでは娯楽施設も何もない所だと思っていたんですけど、離れてみて結構住みやすい島だったんだなって思いました。娯楽施設が少ない、台風が多いっていうところはありますが、生活だけで言うと特に不便もなく、逆に宮古島だからこそ学校で仲良くなれる機会が多かったり、地域行事が多かったりするので、人と人との繋がりが強くなり、子どもたちが素直に育っていく環境だ成り立っているところが宮古島の魅力だと思います。



☆続きは、次号に掲載いたします。

☆ここで、10/1（水）の給食に提供された「宮古島市20周年お祝いデザート」を紹介します。メニュー



は当日のお楽しみでした。そのため、子どもたちも職員も、「イチゴのショートケーキ」「ティラミス」「マンゴープリン」などの予想をしていました。正解は「マンゴーゼリー」



でした。私は味わいについて、ぷるんと柔らかな食感で、口の中いっぱいにマンゴーの風味が広がり、高級感を感じさせる旨さでした。3年生にはマスコミ取材も来ていましたね（食レポは披露できましたか）。



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしゅう

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→→



10月の「広報みやこじま『特別号』」

20周年アニバーサリートーク (下地出身の先輩) with 嘉数市長

49号でも紹介した「広報みやこじま『特別号』」掲載の「宮古島市制施行20周年特別企画 20周年アニバーサリートーク(下地出身の先輩) with 嘉数市長」の続きを紹介します。



仲地あおさん
出身：下地(川満)
所属：帝京大学



20周年アニバーサリートーク with 嘉数市長



上地たくまさん
出身：下地(上地)
所属：琉球大学

3「20世代の将来の夢」

【仲地あお】将来は航空業界、具体的にはJALで働きたいと思っています。宮古島を出たのも、本社に近い東京の方が就職に有利なのかなと考えたからです。今回の帰省で那覇からの乗り継ぎでJTAを利用した際に、CAさんの制服が沖縄の柄ですごく印象に残ったので、沖縄で働くことも視野に入れて考えていきたいです。日本だけでなく、国外の方にも沖縄・宮古の魅力を知ってもらって日本と海外の繋がられるような人になりたいです。

【上地たくま】私は今、医学を学んでいるのですが、将来は宮古島に介護と保育を兼ねた医療施設を作りたいと思っています。こう考えるようになったのが、私の祖父が亡くなった時のことが理由となっていて、いろんな病院を転々としたり、沖縄本島の病院に入院したりしていて穏やかに亡くなることができなかったんです。宮古島で生まれた人はやっぱり宮古島のことが好きで、最期



は家族に囲まれて看取られることを望んでいる人も多いと思うので、生活からしっかりと病気の予防ができる診療所があれば自分の望む最期を迎えられることにも繋がると思うので、保育から介護までをカバーする診療所を作りたいと考えています。

4「ふるさと宮古島へ期待すること」

【上地たくま】私は若者が輝ける島にしたいです。やっぱり宮古島に帰りたという若者が少ない気がしていて、同級生同士で宮古島に帰るかっていう話をするとうるさい話や住みづらさの話題になってしまいます。島外に住んでいるとそこは比べてしまうので、もう少し娯楽施設が増えてもいいのかなと思います。ただ、自然豊かなところが宮古島の魅力であり、皆さんが言及していたように感受性の豊かさに繋がっている部分でもあるので、そこを守りながら開発していく、本当に難しいことだと思いますが、しっかり進めて欲しいと思います。



【仲地あお】私は2つあります。1つは、クルーズ船で来島される観光客の方達がスーパー等に大挙して買い物をするので地元の人が店舗を利用しづらくなってしまうことです。クルーズ船の寄港は観光業を盛り上げるためにも必要なことだと思うので、難しい問題ではありますが、少しでもいい方向に変わってくれるといいなと思います。

もう1つは公共交通機関についてです。公共交通機関がどうしても少なく、学生だと塾や買い物に行きたいときも両親が仕事だと行けなかったり、バスの本数が少なかったりで、不自由に感じるのが度々あったので、何か新しい交通機関が増えてくれればいいなと思います。

☆宮古島の多くの子どもは高校卒業後「18の島立ち」を迎えます。下地出身の先輩からは「島外進学」の視点を中心に語られていました。このトークでは他に「宮古島で就職した人が感じる宮古島の変化」を語る部分も掲載されています。「Uターン就職」の視点も含め、将来の自分の姿を考えてみるのもいいですね！



- ちいかわ作者ナガノ先生からのお祝いメッセージ -

このたびは、宮古島市制20周年、誠におめでとうございます。
とても短い期間ではありますが、私も宮古島で暮らしていたことがあります。BBcomを眺めたり、ジョイジャングルに行ったり、バッタの大群に襲われたり…今でも訪れるたびに、空港を出た瞬間の空気に「なつかしい!」と、心がわくわくします。
大切な場所ができたこと、それが宮古島であることが、私にとって人生の宝物です。
ちいかわのシーサーにも、そんな宮古島の空気がにじんでいたらうれしいです。
これからも宮古島らしさが、穏やかに続いていきますように!

今や老若男女問わず人気の「ちいかわ」。個性豊かなキャラクターたちが繰り広げる不思議な世界観に日本中が夢中です。

「ちいかわ」の物語には、シーサーというキャラクターが登場します。さたばんびんや、うずまきパンフレンチトーストを食べていたり、パーントウの格好で登場したり、宮古島を身近に感じさせてくれます。

そんなちいかわやシーサーたちが、宮古島市の20周年のお祝いに駆けつけてくれました。

きゅーや、ぼんたが よーずんかい、んみゃいふいーさまい、
ぶからすむぬ。たんでいがたんでい~!

んなまからまい、また みゃーくぬ くとぅ たかさーしいー ふいーさまちよー。

(今日は、私たちのお祝いにお越しくださり、嬉しく思います。ありがとうございます!
これからも宮古のことをよろしく願います。)

☆「ちいかわ」作者のナガノ先生が宮古島に縁があったなんて、驚きですね……



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→



10/1で「宮古島市制20周年」

宮古島市20歳を祝うメッセージと サプライズデザートのご感想

前回は「広報みやこじま『特別号』」から「宮古島市制20周年」について紹介をしました。

今回は、みだしの「宮古島市20歳を祝うメッセージとサプライズデザートのご感想」を各学級の代表にまとめてもらいましたので、紹介いたします。まずは、「宮古島市クイズ」から。

「宮古島市クイズ」

Q1：宮古島市が誕生する前の5つの市町村を答えよ。

A1：①平良市、②城辺町、③下地町、
④伊良部町、⑤上野村



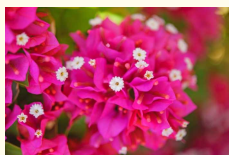
Q2：宮古島市に関する①～④の名称を答えよ。

①市鳥は？ A: サシバ

②市魚は？ A: グルクン・タカサゴ

③市木は？ A: ガジュマル

④市花は？ A: ブーゲンビレア



次に、「宮古島市20歳を祝うメッセージ」を紹介します。

「宮古島市20歳を祝うメッセージ」

1年A組：仲間ちなみ→生まれも育ちも宮古島。小さい頃から宮古島の自然を見て育ってきました。どの県にもない、宮古だけの人の温かさ。キレイな海。ここだけの美しさ。人の優しさ、キレイな自然に包まれて育ってきた私は本当に幸せ者です。これからも変わらずキレイな宮古島であってほしいです。20歳の誕生日、おめでとうございます。

1年B組：村吉にこり→20周年、おめでとうございます。

2年A組：平良秀虎→まずは20歳おめでとう。宮古島市になってから20年も経ったね。僕たちが安心できる街、島になってくれて、Thank you. これからも Nice to meet you.

2年A組：与那覇魁皇→宮古島市誕生20周年おめでとう。

2年B組：宮城仁哉→私たちが安全に暮らせる環境を作っていただき、ありがとうございます。30周年も楽しみにしています。

3年A組：上地うらら→宮古島市誕生20周年おめでとうございます。私は、宮古島市が誕生する前のことを全然知らなかったのですが、これからも宮古島市がもっともっと発展することを願っています。私も宮古島に貢献できるような大人になりたいです。

◎私は、旧5市町村（現在は各地区）全ての勤務経験がありました（平良中・砂川中・福嶺中・伊良部中・上野中・下地中）！

☆続き「20周年を祝うサプライズデザートのご感想」は、②で紹介します……



→①からの続き「20歳を祝うサプライズデザート
の感想」を紹介します。

「宮古島市20歳を祝うサプライズデザートの感想」

1年A組：仲間ちなみ→マンゴーはとても大好きで、夏になったら必ず食べています。今回のデザートは、本当に最高で最強に美味しかったです。

1年B組：村吉にこり→本物のマンゴーのように食物繊維が豊富で、とても美味しかったです。

2年A組：平良秀虎→食べてみて、マンゴーの舌触りと一緒に甘く、The マンゴーって感じで、沖縄、宮古の人が食べやすいゼリーになっていました。とてもおいしかったです。

2年A組：与那覇魁皇→匂いや味もマンゴーが強く、とてもおいしかったです。

2年B組：宮城仁哉→豪華な味わいでとても美味しかったです。まるで本物のマンゴーみたいな滑らかな口当たりで、ゼリーになっていたの食べやすかったです。おかわりもしたかったです。

3年A組：上地うらら→しっかりマンゴーの味がしていて、とても美味しかったし、3年生は多くもらっていたので、みんな喜んでいました。本当にありがとうございました。



◎「サプライズデザート」は、職員でも予想をしていました。私は、お祝いなので紅白の「いちごのショートケーキ」の予想を立てていました（見事にはずれました）。惜しかった答えは「マンゴーケーキ」でした。皆さんはどうでしたか？

☆ところで皆さんは「宮古島市イメージキャラクター『みーや』」について、どんなことを知っていますか？例えば、「誕生日（年齢）」「身長・体重」「性別」「趣味・特技」「性格」「好きな（嫌いな）食べ物」



「ログセ」など……。検索したところ宮古島市HPに「宮古島市イメージキャラクター『みーや』の部屋・『みーや』のプロフィール」が載っていたので、紹介いたします。

※更新されていない為、誤った情報がありますね。



名前	みーや
身長	110cm
体重	19kg
誕生日	平成17年10月1日
年齢	5歳
性別	男の子
性格	超活発
趣味	スポーツ
好きな食べ物	マンゴー
嫌いな食べ物	特になし
好きなもの	青い空と海
苦手なもの	ごみで汚れた所
口ぐせ	みーや みや みーや

https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kankosyokou/kankou/miya_profile.html

☆下地中マスコットキャラクター「となん」のプロフィールもあるといいですね（上記の「みーや」を参考にまとめたいと思います）。



10/6(月)～10(金)は 教育相談週間です

今週はみだしの「教育相談週間」です。今回は事前アンケートをもとに全職員に割り振って相談を行います（私が割り当てられた生徒は2人です）。相談内容はアンケート回答によって変わりますが、自己を見つめ、教師との心の交流を図り温かい人間関係を築くとともに、よりよい学校生活を送ることができるよう、有意義な相談にできればと考えております。家庭での話題にも取り入れてみていいかなと思います。試しに、「教育相談は、どの先生で、どんなことを話したの？」と聞いてみてください。

【お知らせ】 ☆今週は、月曜日に宮古島市の宮城克典教育長、国際交流員の羽地芳子さん、火曜日は義務教育課の當山誠主任指導主事など、来客が相次いでおります。学校生活の様子を参観する中で、「子どもたちは真面目に授業に臨み、あいさつもしっかりできる、教職員との関係性も良い」とお褒めの言葉をいただいております。謝謝！



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしゅう

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→



10/6(月) 羽地芳子さんを招いて

台湾給食メニュー②

みだしの「台湾給食メニュー」は6/30に続く2回目となります。今回は、台湾国際交流員で通訳の羽路芳子さんを3年A組に招き実施しました。ここからは、「宮古新報社」の記事を引用します。

下地中学校は6日、「台湾交流給食」を実施した。台湾の家庭料理として親しまれている鶏肉飯(ジーローファン)、台湾炒米粉(タイワンチャオミーフェン)、酸辣湯(サンラータン)の3品が並び、生徒と教職員計140食分が提供された。

栄養士の武井絵理さんは「台湾らしさを出すためにジーローファンに五香粉(ウーシャンフェン)を入れて香り付けした。サンラータンは酸味を抑えて食べやすくした」と工夫を語った。琉球華僑總會宮古支部長の羽地芳子さんは「台湾らしい香りがしてとても美味しかった。給食で台湾の味を感じられるのはうれしい」と笑顔。

給食に広がる台湾の香り
——皿に込めた友情の味



台湾との国際交流事業に参加した上地うららさんは「台湾で食べた料理は香りが強かったけど、今日は食べやすかった。サンラータンもおいしかった」と話した。

台湾国際交流事業を行う同校では学期に1度、台湾の家庭料理を給食に取り入れ、食を通じた国際理解に努めている。

10/6(月)「八月十五夜(中秋の名月)」

台湾の「中秋節」とは



台湾給食②の同日、八月十五夜(中秋の名月)でした。

下地地区では「シーシャガウガウ」ってやっているんじゃないでしょうか(平良地区ではちらほら見かけたのですが)……?それにしても、月がきれいでしたね。

さて、みだしのよう台湾でも「中秋節」と呼ばれるものがあり、台湾の3大節句(春節・端午節・中秋節)と呼ばれるほどの特別な日だそうです。学校も会社も休みで、家族揃って盛大にお祝いをしながら過ごす(お月見をしながら月餅(げっぺい)というお菓子を食べる)そうです。



10/6(月)「八月十五夜(中秋の名月)」

宮古島市内の 行事あれこれ

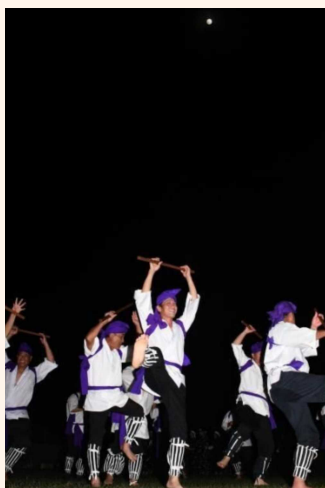


「十五夜 宮古島市」で検索したところ、次の記事がヒットしましたので、紹介します。

名月の下、五穀豊穡祈る 十五夜に伝統のマストリヤー 宮古島市上野野原

【宮古毎日新聞】

宮古島市上野野原の伝統行事「野原のマストリヤー」が旧暦8月15日の十五夜に当たる6日夜、



野原公民館で行われた。中秋の名月の下で男性は豪快な棒踊りを、女性は優雅な舞をそれぞれ奉納し、向こう一年間の五穀豊穡(ほうじょう)を祈願した。公民館には地域住民や地元出身者らが多数集まり、脈々と受け継がれてきた伝統行事を見守った。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/eff20acaeb68e1207ad33e3e2cf803d8b6b5aab5/images/000>

綱引き勝利でみこし舞う 狩俣自治会

【宮古毎日新聞】

狩俣自治会(狩俣勝紀会長)は旧暦8月15日「十五夜」に当たる6日、伝統の十五夜豊年祭を開いた。大綱引きは中秋の名月の月明かりの下で行われ、多くの地域住民らが東西に分かれて大綱を引き合った。熱戦の結果、西軍が勝利し、向こう一年間の豊漁が約束された。



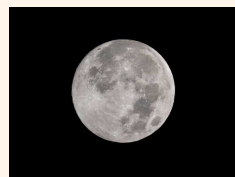
<https://www.miyakomainichi.com/news/news-188344/>

次に、Wikipediaで「八月十五夜」のワード検索を試みました。

八月十五夜

→「中秋月」も参照

当夜の月を中秋の名月(ちゅうしゅうのめいげつ)と言う。



新芋(サトイモ)の水炊きを供えたりすることから芋名月とも。

「仲秋の名月」は「旧暦8月の月」を指し、十五夜の月に限定しない。「仲秋」は、秋季を初秋(旧暦7月)・仲秋(同8月)・晩秋(同9月)の3区分した場合の、旧暦8月全体を指す。「中秋」は「秋の中日(=旧暦8月15日)」のみを指す。

「望(ぼう)」は満月を指すが、中秋の夜に雲などで月が隠れて見えないことを「無月(むげつ)」、中秋の晩に雨が降ることを「雨月(うげつ)」と言い、月を望めずともなんとなくほの明るい風情を賞する。俳諧では8月14日～15日、16日～17日の夜をそれぞれ「待宵(まつよい)」「十六夜(いざよい)」と言い、名月の前後の月を愛でる。

旧暦8月15日は、日本の六曜で必ず仏滅に該当し、俗に「仏滅名月」とも称する。

英語圏では同時期の満月を表す表現として「Harvest Moon」や「Hunter's moon」がある。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9C%88%E8%A6%8B>



八月十五夜の供え物として、ススキや団子、旬の収穫物を供えるそうです。十五夜を「芋名月」と称するのは、ちょうどサトイモの収穫期に当たるため、特に西日本・京阪地方では広くサトイモを供えることが多いそうです。サトイモの収穫祭としての性格を強く帯びているものと考えられますね。

これらの供物を盗んでもよいとする風習が各地にあったそうです。しかし、盗みの習慣が良くないとされて廃止に追いやられたところが多いそうです。

☆今回は途中から「八月十五夜」の特集になってしまいました。関連して右の画像「フチャギ(フキャギ)」は食べましたか?旬の物を食べて元気100倍になったことでしょう!

